

東京都における 化学物質管理対策について

東京都環境局環境改善部

有害化学物質対策課長

保坂 幸尚

都の化学物質対策の体系(1)

- 直接規制的手法に基づく対策
 - 大気汚染防止法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法及び環境確保条例に基づく濃度規制
 - 環境確保条例に基づく排出防止設備の設置の義務付け
- 誘導的手法(枠組規制)に基づく対策
 - 化学物質排出把握管理促進法及び環境確保条例に基づく排出量等の把握・報告を通じた化学物質の自主的な適正管理の促進

都の化学物質対策の体系(2)

• 事業者の自主的取組の促進策

– 化学物質の子どもガイドライン

- 鉛ガイドライン(塗料編)
- 室内空気編
- 殺虫剤樹木散布編
- 食事編



– 揮発性有機化合物(VOC)の排出抑制策

- VOC対策ガイドの作成と普及
- VOC対策アドバイザーの無料派遣 など

VOCとは、Volatile Organic Compoundsの略で、揮発しやすい有機化合物の総称

都の化学物質対策の体系(3)

• 環境中の化学物質のモニタリング

- 大気汚染防止法、水質汚濁防止法及びダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視
- 都独自の大気中VOC濃度の連続測定

• リスクコミュニケーションの推進

- リスクコミュニケーション事例報告会の開催
- 地域性を考慮した新たなリスクコミュニケーションのあり方の検討

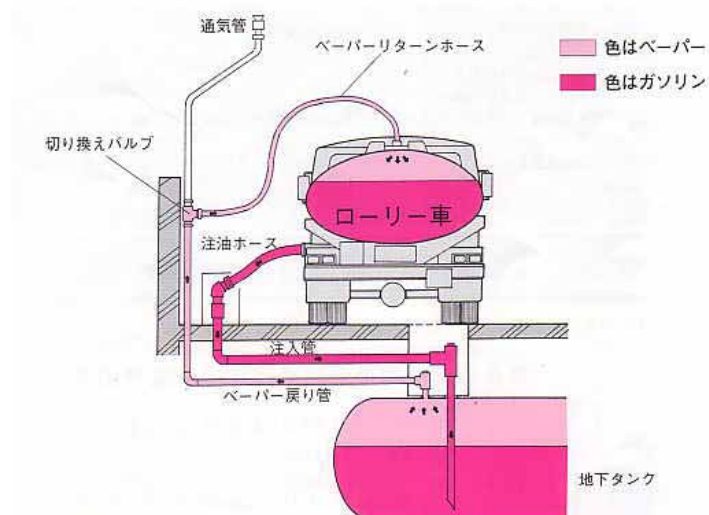


直接規制的手法(環境確保条例)

- 人の健康に障害を及ぼす化学物質について、工場などの排出口において濃度による規制基準を設けて規制。
 - 大気汚染の原因となる42種類の「有害ガス」、水質・土壌汚染の原因となる26項目の「有害物質」を規制。
- ガソリンスタンドなどに蒸発防止設備(ベーパーリターン)の設置を義務付け。

など

ベーパーリターン設備の例



東京都
TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

誘導的手法による化学物質の適正管理

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR制度)

「届出要件」

- ・ 354種類 (第1種指定化学物質)
- ・ 年間取扱量1トン以上
- ・ 製造業等の23業種
- ・ 従業員数21人以上

・ 排出量、移動量を届出

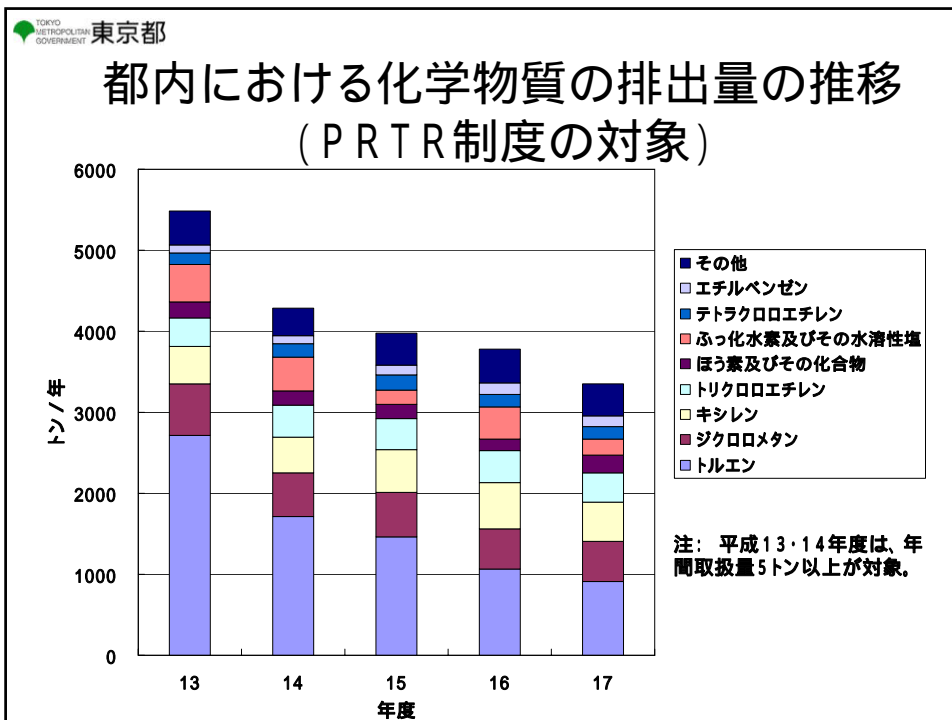
環境確保条例 (化学物質適正管理制度)

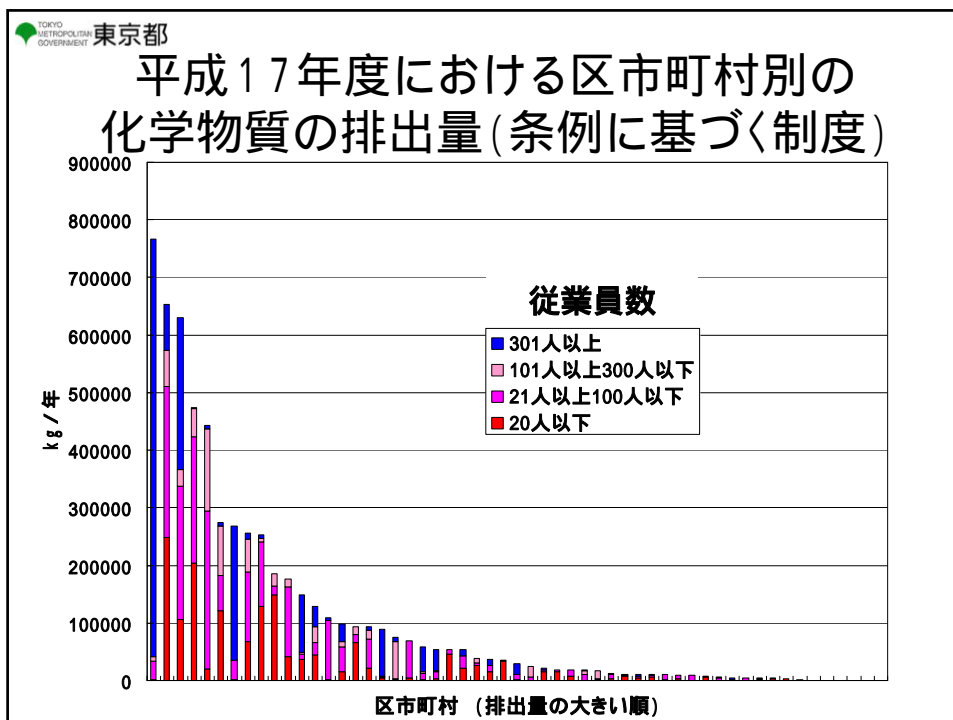
「届出要件」

- ・ 58種類(適正管理化学物質)
- ・ 年間取扱量 100kg以上
- ・ 工場・指定作業場
- ・ 使用量等の報告では、従業員数による裾きりはない。

・ 使用量、製造量、出荷量、排出量、移動量を報告

・ 化学物質管理方法書の作成、提出(正社員21人以上)





東京都

化学物質の子どもガイドライン

- 子どもの行動パターンや生理特性を考慮して、特に配慮すべき化学物質を選定。
- 化学物質の使用実態等をもとに、子どもの行動様式を考慮した曝露状況を調査。
- 子どもに対する化学物質の曝露を低減するための対策を検討。
- 関係者による自主的取組の指針に。

化学物質の子どもガイドラインの一例 鉛ガイドライン(塗料編)

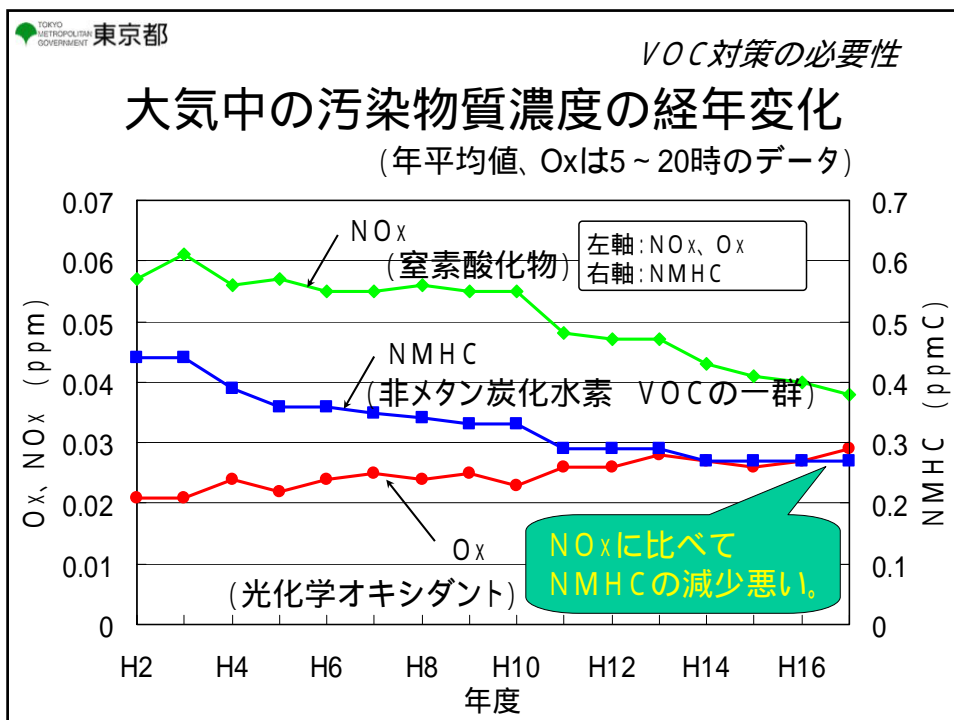
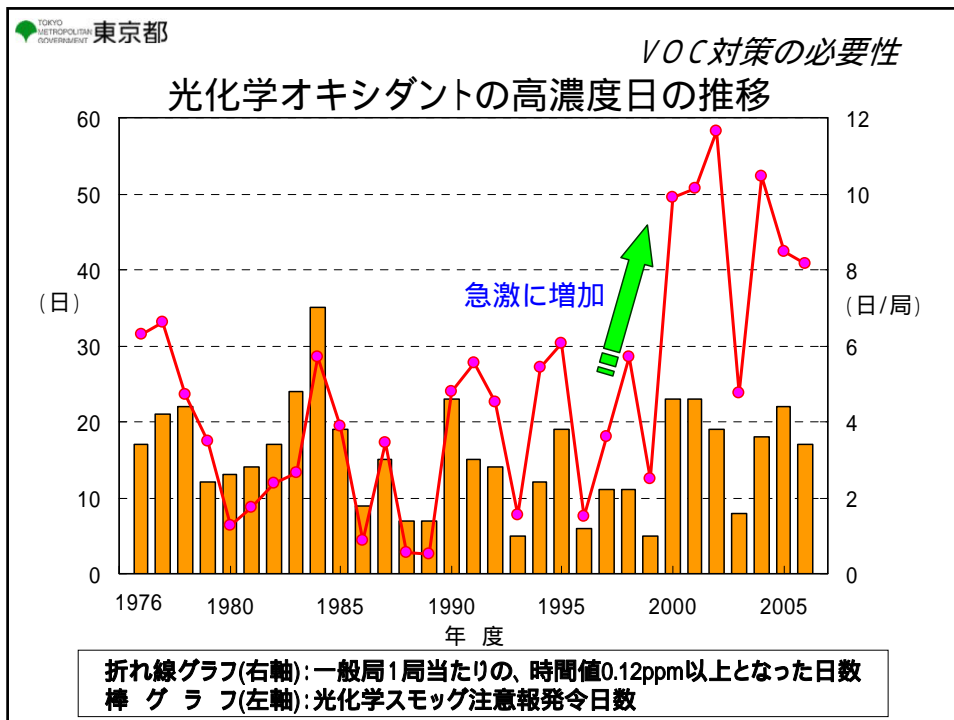


子どもが多く利用
する施設や遊具
には、鉛フリーの
塗料を使用してく
ださい。

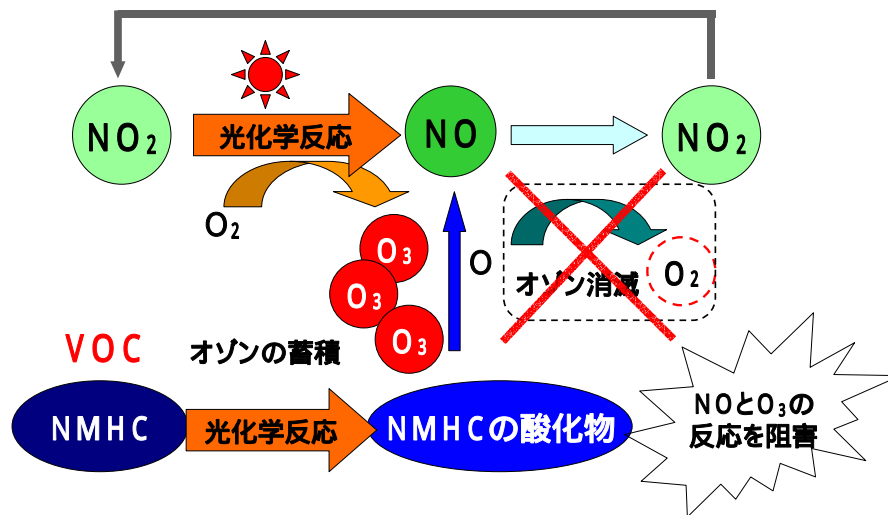
塗装面を良好に
保全してください。

鉛ガイドライン(塗料編)の波及効果

- 鉛フリー塗料を使用することを仕様書等で指定
 - 東京都財務局・都市整備局
 - 区市町村
- 日本塗料工業会、日本塗装工業会への取組促進
 - 鉛フリー塗料の開発
 - 建築士、インテリア設計士、施工業者、販売店に対する説明会の開催
- 鉛フリー塗料のJIS化
- 鉛フリー塗料のエコマークへの採用

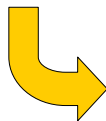


非メタン炭化水素の関与によるオゾンの急激な増加



東京都のVOC対策

工場における自主的取組への技術支援



VOC対策ガイド(工場内編)の発行、周知
VOC対策アドバイザーの無料派遣
低価格な処理装置の開発促進

低VOC製品の普及・啓発



VOC対策ガイド(屋外塗装編)の発行、周知
低VOC塗装セミナーの開催
公共部門での低VOC製品の優先使用

VOC対策ガイド(工場内編)

- 塗装、印刷、金属表面処理、クリーニングの4分野を対象。
- VOC排出抑制策を、工程改善、原材料転換、処理装置の導入に分けて解説。
- 中小事業者が導入しやすい抑制策を中心に掲載。



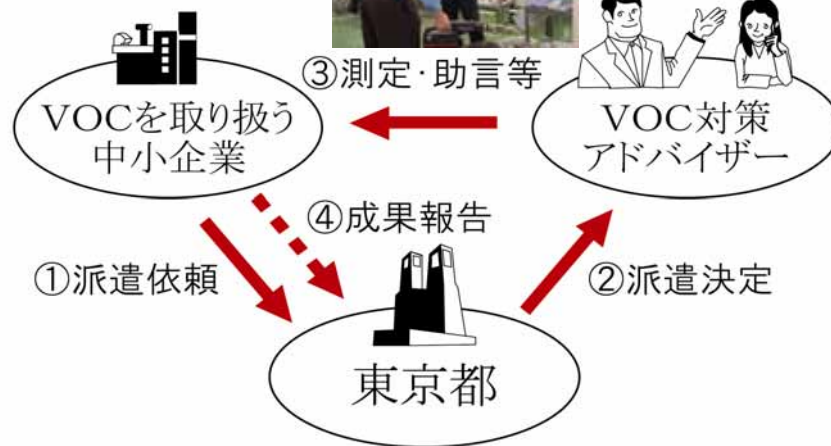
VOC対策ガイド(屋外塗装編)

- 現状で適用可能な低VOC塗装仕様(塗装工程の組み合わせ)を整理。
- 構造物別(建築物、仕上材、橋梁等)、素地面別(コンクリート、鉄鋼等)に分けて記載。
- VOC削減率、コスト等を提示。



VOC対策アドバイザーの無料派遣

派遣制度の流れ



VOC対策に関するシンボル事業 - 環境配慮企業との連携による普及啓発 -

- ・身近にありながら知名度の低いVOC
- ・目に見えないVOC
- ・環境に与える影響がわかりにくいVOC



- ・誰でも知っているシンボリックな構造物で可視化。
- ・知名度のある環境配慮企業とタイアップ。
- ・広く都民・事業者に関心を持ってもらい、VOC対策への参加の輪を広げる。

東京都		
トプランナー企業と東京都の環境戦略		
私たちは、環境にやさしい「低VOC塗装工事」を開始します！（50音順）		
 首都高速道路株式会社	 東京ガス株式会社	 東京電力株式会社
		
中央環状新宿線トンネル部 （豊島区、中野区）他 VOC削減率:約90% 18年度工事	板橋整圧所 球形ホルダー （板橋区新河岸二丁目）他 VOC削減率:21% 10月から工事	154kV, 66kV 送電鉄塔 （板橋区、杉並区）他 VOC削減率:約28% 3月の工事
 日本電波塔株式会社	 東日本旅客鉄道株式会社	 東京都建設局
		
東京タワー展望台上部柱 （港区芝公園三丁目） VOC削減率:88% 3月から試験塗装	JR 常磐線三河島こ線線路橋 （荒川区西白暮里一丁目） VOC削減率:約80% 8月から工事	隅田川 白鬮橋 （墨田区東向島 付近） VOC削減率:22% 18年度夏季工事

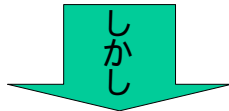
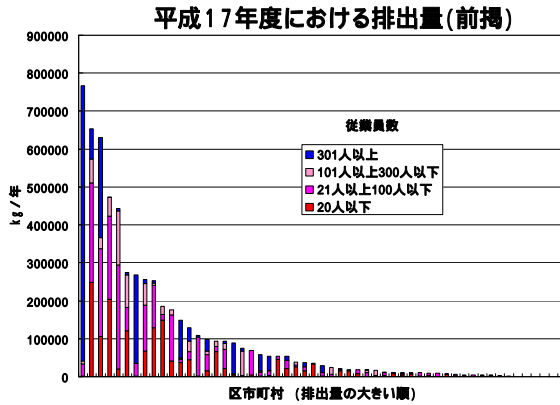
東京都

リスクコミュニケーション事例報告会

- リスクコミュニケーションに関心があるが、実施方法がわからない事業者に対する先駆的事業者からの情報提供、工夫等の紹介。
- リスクコミュニケーションに関する、都民・行政・事業者の意見交換等を行い普及を図るもの。
- 平成14年度から毎年開催。

地域性を考慮した 化学物質管理対策の必要性

- 地域により化学物質の排出量が大きく異なる。
- 中小事業者からのVOC排出量の割合が大きい。

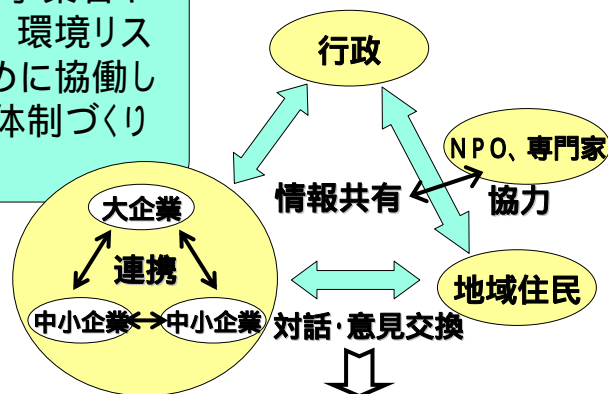


多くの中小事業所では、リスクコミュニケーションを単独で実施することが困難。

新たなリスクコミュニケーションの推進案

地域内の複数の事業者や住民が連携して、環境リスクを低減するために協働して取組を進める体制づくりをしていく。

まずは、地域での学習会から。



相互理解を深め、地域における環境リスクを低減

地域での化学物質管理戦略における 地方公共団体の役割(私見)

- 国際的な動向を踏まえながら、リスク評価(曝露評価)・リスク管理・リスクコミュニケーションに関する地域での施策を体系化する。
- 地域における将来像を示し、地域で取り組む具体的な対策を策定する。
- 地域の住民や事業者に対して、わかりやすい資料を提供していく。